

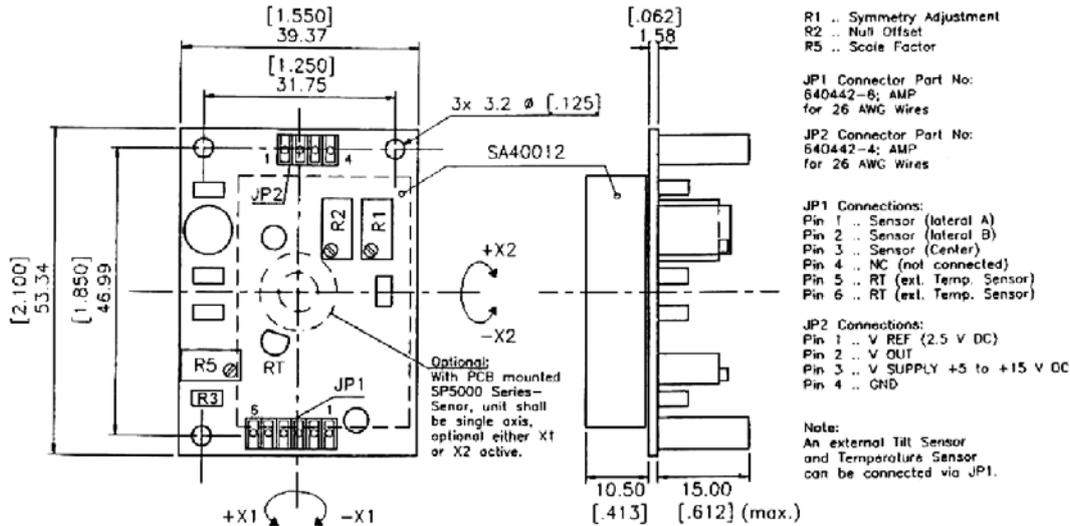
SSY0079型 シグナル コンディショナー 基板



単軸のスペクトロン電解液式傾斜センサー用

SSY0079型シグナル コンディショナーは、単軸スペクトロン電解液式傾斜センサーに使用可能です。これは独自の信号処理アルゴリズムに基づいており、最新の大量生産技術により製作されています。単一電源で作動し、CMOS技術を使用しています。消費電流が少なく、バッテリー電源を使用する用途には最適です。零点、対称、及びゲイン調整用のそれぞれのポテンショメーターが装備されており、外付けの温度補償用の温度センサー(オプション)も取付けもでき、容易に単軸電解液式傾斜センサーと組み合わせて使用できます。

mm (inches) 寸法図(参考値)及び電気接続図



電気特性	標準 (公称値)
必要供給電源(VDD)	+5 VDC から+15 VDC 安定化電源
消費電流	約 0.5 mA(5 VDC の場合);0.9 mA(15 VDC の場合)
センサーの印加電圧	約 380 mV pp 矩形波
入力インピーダンス	約 5 M オーム
出力信号	約±1.5 VDC(6 VDC 電源の場合). V ref.基準 最小負荷 100 KΩ
時定数	約 70 ミリ秒
オフセット調整(R2)	約±45 mV DC
出カリップル	出力電圧の約 0.35 %(RG 24kΩ)
温度係数(代表値) 基板のみ	ゼロ点: 約100マイクロボルト/°C +1V 出力で:約 0.02 %/°C
ゲイン調整(R5)	ポテンショメーターR5 による
温度範囲	動作時: -25°C~+70°C. 保存時:-40°C~+80°C
温度補償 傾斜センサーと基板 の組み合わせ (外付け温度センサーは オプションです)	JP1 のピン#5 と 6 の間(外付け)にシリコン温度センサーRT を取付、R3 を抵抗箱等で最適化することで、傾斜センサーのスケール出力変化対温度を特定の温度範囲で小さくすることが可能です。RT を傾斜センサーの近くに置くことで効果が良くなります。R3 の抵抗値の目安は傾斜センサーにより異なります。次ページをご参照ください。

ご注意: この製品カタログに記載されている内容は、製品の性能の改善等のためにご通知なく改定されます。2014.3.17

日本代理店

株式会社パシフィックテクノロジー

273-0005 千葉県船橋市本町6丁目18番5号アサヒ船橋ビル602

TEL:047-426-1650 FAX:047-426-1652

E-mail: sales@pac-tech.com URL: <http://www.pac-tech.com>

R3 温度補償抵抗の代表値(目安値)

R3 抵抗値を最適化することで傾斜センサーのスケール温度係数を減少することができます。

傾斜センサー	抵抗値	傾斜センサー	抵抗値
RG 33 A	140 K Ω	SH50054-A-003	140 K Ω
RG 33 T	140 K Ω	SH50055-A-009	140 K Ω
RG 33 N	140 K Ω	SH50056-A003	75 K Ω
RG 57 S	65 K Ω	SH50056-A-008	75 K Ω
CG 10 N	65K Ω	SH50058-A-003	オープン
CG 50 S	65 K Ω		
CG 57 S	65 K Ω		
L 210	100 K Ω		
L 211 U	75 K Ω		
L212 T	75 K Ω		